２０２３年度 秋田県ダンススポーツ連盟 第３回理事会 議事録

１　開 催 日 時　　2023 年 10 月 10 日（火）13 時 30 分～16 時 00 分

２　開 催 場 所　　秋田市北部市民サービスセンター(キタスカ)２階洋室１

３　出　席　者　　長谷川会長、富樫副会長、菅原副会長、長谷川副会長
三浦理事、富樫理事、尾留川理事、田中理事、
奈良理事、山岡監事、織田監事 以上 11 名

４　議　　長　　長谷川会長

５　書　　記　　奈良理事

６　司　　会　　奈良理事

７　会 議 概 要

理事会は定刻に司会者が開会を宣言し開会された。続いて長谷川会長より挨拶があり、連休のなかの参集のお礼と会議時間が少なく議題が多いため、円滑に会議を進めてほしい旨のお願いがあった。

会議に入り、はじめに担当理事から２件の報告があり、各報告毎に質問・意見が出された。次に４議題の協議に入り、担当理事の説明に対し質疑がなされた。その他として、①インボイス留意事項②貸借対照表の変更事項③リアル貸付料の別会計化の提案、④リアルシステム維持管理費の取り扱い⑤ねんりんピック選抜戦出場要件の社協への確認など多くの提案、意見が出された。

会議は、予定された全ての報告事項、協議事項及びその他で出された事柄を討議し、16 時 30 分に閉会した。

８　会議内容と結果

報告事項

① 第 35 回秋田県 DS 大会(9/24)の報告（富樫副会長、三浦理事）

想定よりエントリーが少なかったが、経費節減に努めたことから、７万円ほどの黒字となった。また、エントリー増に向け検討が必要との報告があり、参加呼びかけの手段として、ダイレクトメールや公式✕の利用、大会会場の選定と事前申し込みの工夫等の意見があったが、結論に至らなかった。（参加呼びかけについては次回理事会で再度検討したい。・・・奈良）

② 東北ブロックオンライン会議（9/30）の報告（長谷川会長）

配布資料を基に、・2023 前期ブロック大会の赤字対応について（1/2 補填）・2024 競技会エントリー料の増額（県大会 4,500 円→5,000 円、東北ブロック大会 5,000 円→5,500 ただしＡ級戦 6,000 円）について・2024 指導員登録料の各県徴収について、・来年度から三笠宮杯出場補助の廃止、東北ランキン

グ表彰の廃止の説明があった。（議事録が送付されしだい、役員にメールを転送します。）

協議事項

① JDSF 秋田ダンスフェステバル（11/12）について（富樫副会長）

・富樫副会長からタイムスケジュールが提示され、意見を求められた。
その結果、開会から会長挨拶まではダンスタイムであることを確認した以外は提示資料のとおりで了承された。（後日、富樫会長から抽選会２回より、２回目の抽選会をトライアルに変更したい旨の連絡があり、修正したタイムスケジュールを 10 月 12 日ホームページにアップした。）

・簡単な予算書でもいいので、DS 交流会等を実施する際は、予算書を作成すべきとの意見があり、今後、作成することとした。

・秋田大学競技ダンス部への支援金については、フェスティバルの収支決算を勘案し、できるだけ早く交付することとした。

② 秋田県スポーツ協会創立１００周年記念誌の執筆について（奈良理事）

・長谷川会長が執筆することとした。原稿ができしだい役員の意見を聞き、最終原稿を作成し、期日までに県スポーツ協会に提出することとした。

③ 2024 秋田 DS 大会（予定表の作成）について（長谷川会長）

・長谷川会長が作成した開催予定表をたたき台に最終案を作成した。
前期は 3 月 10 日、秋田市中央地区老人福祉総合エリアで開催、後期東北ブロック大会は 10 月 6 日、秋田県立体育館を第一候補とし、秋田市立体育館サブアリーナを第二候補とした。（会場決定は秋田県スポーツ協会加盟団体調整会議後となる。）

~~・シニアⅢ、Ｓｔ,La は前期・後期ともＧＢに変更する。~~

・第３６回秋田大会のシニアⅢ、シニアⅣの St・La 共にＢ級戦に変更する。また、後期は東北ブロック大会であることから、シニア戦はすべてＡ級戦としたうえで、ブロックランキング戦とした。

④ いきいきねんりんピック親睦大会について（奈良理事）

・9 月 8 日、社協の小玉氏と大会要領の件で相談したところ、本大会開催に当たり、赤字が生じるのであれば補助金増額はハードルが高い（社協に本大会が移管後、補助金増額の事例無し）ので、いきいきねんりんピック親睦大会と JDSF 秋田主催の大会を同時開催するかダンス交流会やダンス講習会を大会終了後開催することで、トータルとして収益をあげたらよいのでは、という話があった。小玉氏には理事会で社協の意向を説明し、当方の意見を集約し再度協議する旨を伝えている。との説明の後、協議に入った。以下に結論を記す。

・昨今の県の財政事情では補助金増額は困難と思われ、親睦大会終了後 16 時

まで会場を使用できるのであれば、親睦大会開始時刻を早くし、JDSF 秋田主催の催しを実施すべきであり、今年度の実施に向け社協に開催時刻の変更が可能か問い合わせすることとした。
・開催要領を改正し、オ＝プン戦を 3～4 種目戦とし参加費を 500 円×種目数に改め収入増を図り、収入増分を補助金として交付することに合理性があり将来的に補助金増になるよう交渉を継続していく。（奈良）

その他
① インボイス制度の留意事項（長谷川会長）
・JDSF 本部と関連する支出をする際は、事業者にインボイス登録済みを確認してから依頼すること。（資料として JDSF 本部からの文書の配布あり）
② 貸借対照表の表記の変更（織田監事）
・貸借対照表の流動負債の部に大項目の預り金を設け小項目に年会費、選手登録料、指導員会費を設けることにした旨の説明があった。（資料あり）
③ リアルシステム貸付料の別会計化（織田監事）
・2018 年から現在までの貸付料合計額は 317,000 となっている。別会計として管理すべきとの提案があった。（この件について異議はでなかったが、明確な意思確認がなされなかったので次回理事会で再確認したい。奈良）
・会長から現在、青森県でリアルシステム導入に向け準備を進めているとの情報提供があった。
④ リアルシステム維持管理費の取り扱いについて（織田監事）
・維持管理を行っている岩手県の堀江氏から、三浦会長以後維持管理費をもらっていない。との情報を得た。堀江氏には理事会に諮り、その結果を伝えることとしたので、理事会で協議し堀江さんに理事会の結果を知らせてほしいとのことであった。
・協議の結果、未払いの維持管理費を支払うこととし、金額については、堀江氏提示の年 1 万円程度に異議はでなかった。また、堀江氏には会長が連絡することとした。
⑤ ねんりんピック選抜戦出場要件の社協への確認（山岡監事）
・出場要件を秋田県 JDSF の登録選手と変更するようだが、過去に社協から広く全県から選手を募るよう言われているので、確認した方が良いというアドバイスがあり、後日社協の意向を確認することとした。　　以上

令和５年 10 月 25 日
書記　奈良　正右衛門

ＪＤＳＦ秋田役員の皆様へ
　第３回理事会の議事録を供覧します。